

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書					
2024 年 7月 8日					
高槻市長 殿					
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">収 受</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">令和 -6.7.-8</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">高市資第 号</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">* 高 槻 市</td> </tr> </table>	収 受	令和 -6.7.-8	高市資第 号	* 高 槻 市	提出者 住 所 大阪市福島区吉野4丁目22番9号 氏 名 太陽エコブロックス株式会社 代表取締役社長 石井 克侑 電話番号 06-6466-6751
収 受					
令和 -6.7.-8					
高市資第 号					
* 高 槻 市					
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。					
事業場の名称	太陽エコブロックス株式会社 高槻工場				
事業場の所在地	高槻市唐崎南2丁目8番1号				
計画期間	2024年4月1日 ~ 2025年3月31日				
当該事業場において現に行っている事業に関する事項					
① 事業の種類	コンクリートブロック製造				
② 事業の規模	年間製造数 462万個				
③ 従業員数	17名				
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	太陽エコブロックス株→外部委託運搬→外部処理				

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
工場長	削減推進責任者・・・計画、立案		
製造課長	削減推進者・・・削減実施、指示		
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	木くず
	排出量	4,190 t	60 t
	(これまでに実施した取組)		
② 計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	木くず
	排出量	3,800 t	50 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	なし		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
	なし		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
② 計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	木くず
	全処理委託量	4,190 t	60 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
1. コンクリートブロック不良率削減 2. 片面スプリットブロックの開発によるコンクリートガラ削減 3. フォークリフト用バンパーによる木パレット破損対策 4. スプリットヘタの商品開発			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	木くず
	全処理委託量	3,800 t	50 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
1. コンクリートブロック不良率削減 2. 片面スプリットブロックの開発によるコンクリートガラ削減 3. 木パレットの修理による廃棄パレット削減 4. 木パレット形状変更による廃棄削減 5. スプリットヘタの商品化			
※事務処理欄			

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月21日

高槻市長 殿

提出者

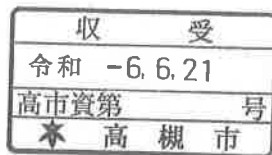
住所 大阪市淀川区新北野1-2-3

氏名 高松建設株式会社 大阪本店

取締役専務執行役員本店長 岡田尚之

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6307-8106



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	高松建設株式会社 大阪本店管轄内各行政事業場
事業場の所在地	大阪市淀川区新北野1-2-3
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業
②事業の規模	売上高 860億円(2023年3月期)
③従業員数	1980名(2023年4月現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添1 処理工程図のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別添2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（令和5年度）実績】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
①現状	排出量		270.00 t	0.35 t
	(これまでに実施した取組) 作業所における建設副産物の発生抑制への施策実施 (場外加工の徹底、梱包の簡素化他)			
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
②計画	排出量		216.00 t	0.28 t
	(今後実施する予定の取組) 作業所における建設副産物の発生抑制への施策実施 (場外加工の徹底、梱包の簡素化他) ※継続実施し、より効率化を行い、副産物の減量化を促進する。 電子委託契約の導入により、本店にて優良業者の選定を行う。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず・ダンボール・石膏ボード・木くず・コンクリート破片・ アスコン破片他作業所の状況に合わせて分別実施
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 金属くず・ダンボール・石膏ボード・木くず・コンクリート破片・ アスコン破片他作業所の状況に合わせて分別実施 ※継続実施

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

紙くず	木くず	廃石膏ボード	コンクリート片
0.30 t	176.05 t	27.07 t	2,748.63 t

②計画

紙くず	木くず	廃石膏ボード	コンクリート片
0.24 t	140.84 t	21.66 t	2,198.90 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
72.00 t	68.08 t	142.48 t	16.00 t

②計画

アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
57.60 t	54.46 t	113.98 t	12.80 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

水銀使用製品			
0.15 t	t	t	t

②計画

水銀使用製品			
0.12 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	—	t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	—	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	—	t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面-1)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	—	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	—	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	270.00 t	0.35 t
	優良認定処理業者への処理委託量	270.00 t	0.35 t
	再生利用業者への処理委託量	270.00 t	0.35 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本社内で現場のエリアごとに産廃業者の選定を行い、偏りが起こらないようにしている ・ 特に再資源化率の高い事業者、優良認定を受けている事業者を積極的に選択するようにしている 			

(第4面-2)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

紙くず	木くず	廃石膏ボード	コンクリート片
0.30 t	176.05 t	27.07 t	2,748.63 t
0.30 t	0.00 t	7.50 t	29.75 t
0.30 t	176.05 t	27.07 t	2,748.63 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

(第4面-3)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物（管理型）	石綿含有産業廃棄物
72.00 t	68.08 t	142.48 t	16.00 t
0.00 t	10.36 t	54.08 t	0.00 t
72.00 t	68.08 t	114.14 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

(第4面-4)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

水銀使用製品			
0.15 t	t	t	t
0.15 t	t	t	t
0.15 t	t	t	t
0.00 t	t	t	t
0.00 t	t	t	t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
②計画	全処理委託量		216.00 t	0.28 t
	優良認定処理業者への処理委託量		216.00 t	0.28 t
	再生利用業者への処理委託量		216.00 t	0.28 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0.00 t	0.00 t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>産廃情報ネット等の情報を参考に、優良認定を受けている産廃処理業者との契約締結率をあげる。また、定期的に処理状況の現地確認も行う</p> <p>特定建設資材については優良認定を受けている再生利用業者に委託する</p>			
※事務処理欄				

(第5面-2)

②計画

紙くず	木くず	廃石膏ボード	コンクリート片
0.24 t	140.84 t	21.66 t	2,198.90 t
0.24 t	0.00 t	6.00 t	23.80 t
0.24 t	140.84 t	21.66 t	2,198.90 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

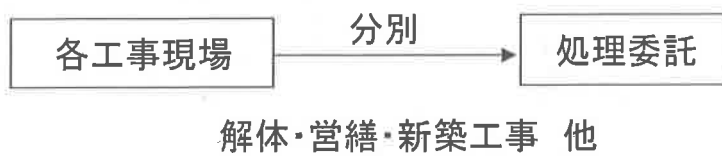
②計画

アス・コン片	その他がれき類	建設混合廃棄物 (管理型)	石綿含有産業廃棄物
57.60 t	54.46 t	113.98 t	12.80 t
0.00 t	8.29 t	43.26 t	0.00 t
57.60 t	54.46 t	91.31 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t
0.00 t	0.00 t	0.00 t	0.00 t

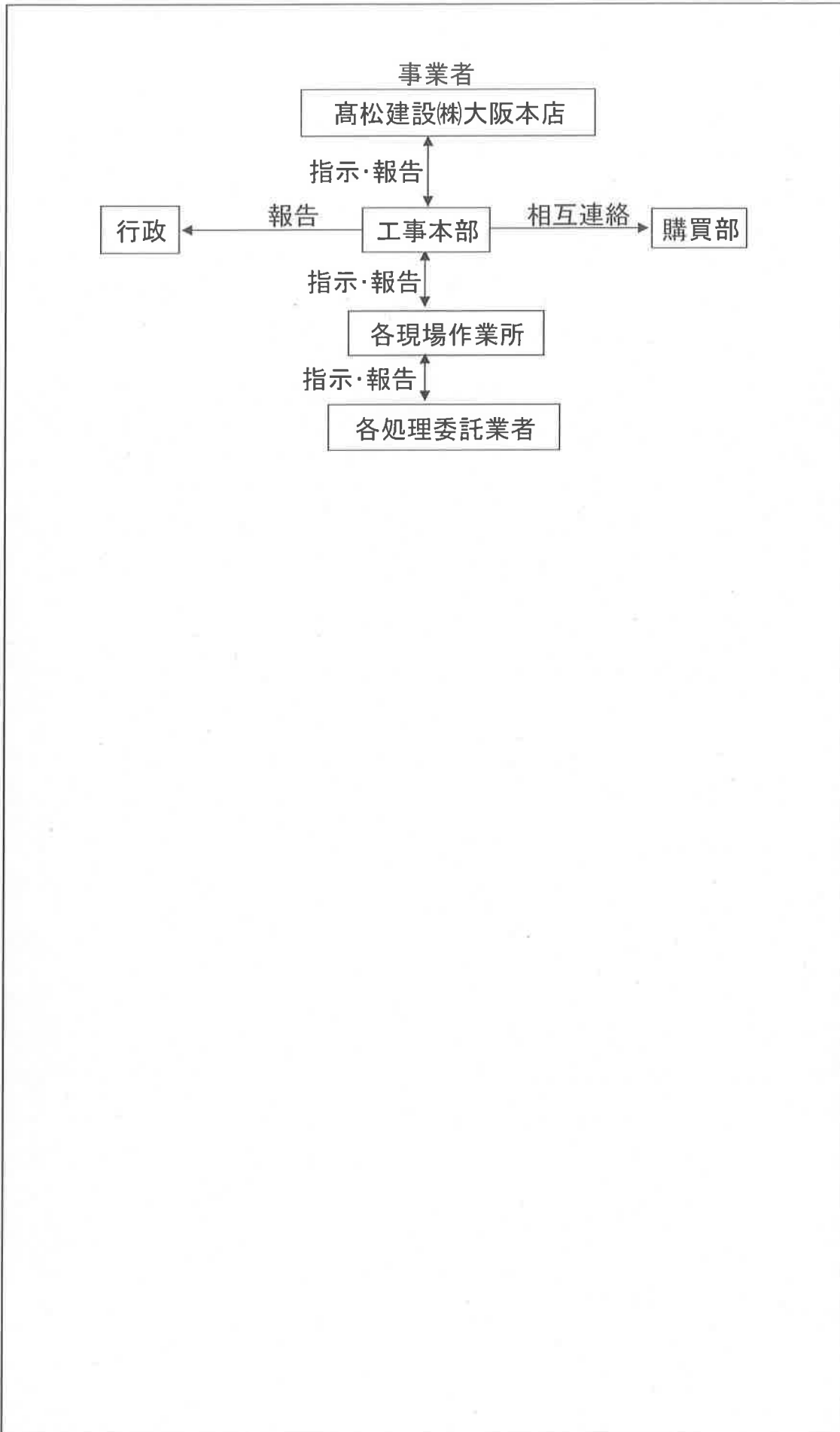
②計画

水銀使用製品			
0.12 t	t	t	t
0.12 t	t	t	t
0.12 t	t	t	t
0.00 t	t	t	t
0.00 t	t	t	t

別添1 処理工程図



別添2 管理体制図



様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 6月15日

高槻市長 殿

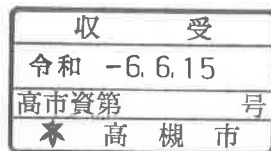
提出者

住 所 大阪市北区梅田3丁目3番5号

氏 名 大和ハウス工業株式会社 本店
常務執行役員本店長 浦川竜哉

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6342-1240



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	大和ハウス工業株式会社 本店 高槻市管轄内事業場
事業場の所在地	高槻市管轄区域内
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	工事完成高 155,201百万
③従業員数	全従業員 1,164名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ・解体工事 がれき類（コンクリート塊、アスコン塊）、木くず→再生処理業者に委託して、再生砕石、チップ（合材用、燃料用）として再資源化 ・新築工事（住宅系当社商品） 現場にて建設産廃を19品目に分別し当社奈良工場に一括して集め品目別に再生処理業者に委託し再資源化 ・新築工事（一般建築） 現場にて建設産廃を分別しリサイクル可能な品目については再生処理業者に委託して再資源化

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙通り (別表1、別表2)			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度 (2023年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	300 t	108.1 t
	(これまでに実施した取組) ・住宅系に於ける当社商品の工業化		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	排 出 量	270 t	97.29 t
	(今後実施する予定の取組) ・上記の取組みに加え、店舗建築に於ける当社商品の採用 ・石膏ボードのプレカット化		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・住宅系新築工事では19品目に分別 ・建築系新築工事では7品目に分別		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・上記の分別を継続		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の排出の抑制

①現状

①現状

紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
4.8 t	115.2 t	0.6 t	2.5 t

②計画

②計画

紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
4.32 t	103.68 t	0.54 t	2.25 t

別に関する事項

ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	がれき類	管理型建設系混合廃棄物	
162.5 t	977.2 t	40 t	1710.9

ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	がれき類	管理型建設系混合廃棄物	
146.25 t	879.48 t	36 t	1539.81

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（2023年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	300 t	108.10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	50.00 t
	再生利用業者への処理委託量	300 t	4.30 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	98.10 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	0 t	0 t
(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。 ・毎年、委託先処理業者の現地審査を実施している。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

自ら行う産業廃棄物の埋

①現状

①現状

t	t	t	t

②計画

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の処理の委託

①現状

①現状

紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
4.80 t	115.2 t	0.6 t	2.5 t
0.70 t	43.5 t	0 t	1.6 t
3.90 t	115.2 t	0.6 t	2.5 t
0 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

立処分又は海洋投入処分に関する事項

t	t	t

t	t	t

に関する事項

ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	がれき類	管理型建設系混合廃棄物	
162.50 t	977.2 t	40 t	1710.9
35.40 t	506.20 t	40.00 t	677.4
161.00 t	907.30 t	40.00 t	1534.8
0 t	0 t	0 t	98.1
0 t	0 t	0 t	0

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	汚泥	廃プラスチック類
②計画	全処理委託量		270 t	97.29 t
	優良認定処理業者への処理委託量		0 t	45.00 t
	再生利用業者への処理委託量		270 t	3.87 t
	認定熱回収業者への処理委託量		0 t	88.29 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)			
<ul style="list-style-type: none"> ・可能な限り優良認定処理業者を選定する。 ・委託処理業者への現地審査は継続する。 				
※事務処理欄				

②計画

②計画

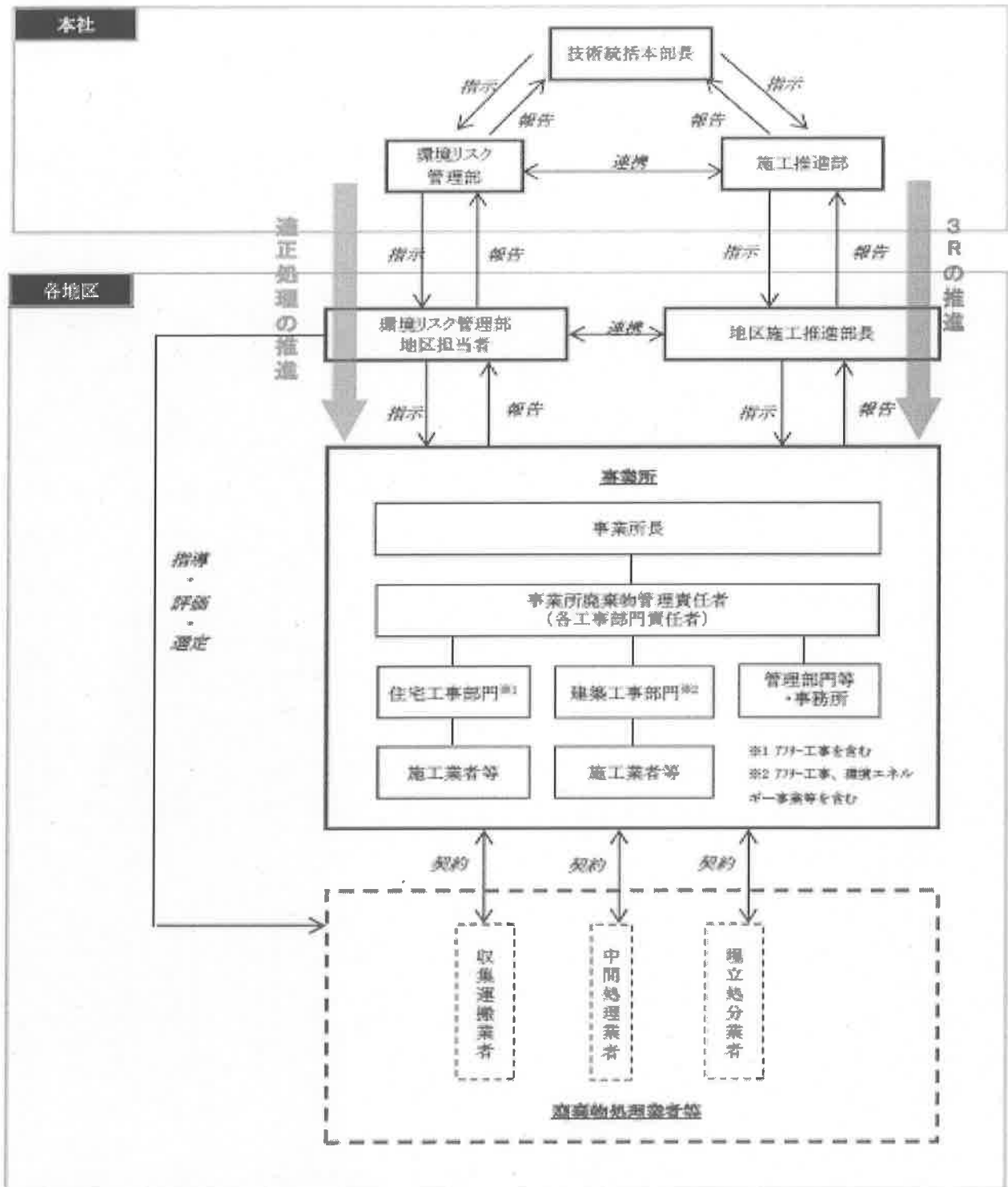
紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
4.32 t	103.68 t	0.54 t	2.25 t
0.63 t	39.15 t	0.00 t	1.44 t
3.51 t	103.68 t	0.54 t	2.25 t
0.00 t	0 t	0 t	0 t
0 t	0 t	0 t	0 t

ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁	がれき類	管理型建設系混合廃棄物	
146.25 t	879.48 t	36 t	1539.81
31.86 t	455.58 t	36 t	609.66
144.90 t	816.57 t	36 t	1381.32
0 t	0 t	0 t	88.29
0 t	0 t	0 t	0

廃棄物処理に関する管理体制

区分	部門	主な職務
事業所	事業所長	<p>【適正処理の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遵法性の確認 ・ 事業所廃棄物管理責任者の任命 ・ 委託基本契約書の締結
	事業所廃棄物管理責任者 (工事部門責任者)	<p>【適正処理の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物処理業者等の現地審査 ・ 事業所廃棄物処理系統図の作成 ・ 委託基本契約書の作成 ・ 現場指導(分別、保管管理等) ・ 事業所廃棄物管理状況の確認 ・ 行政対応(報告書類の作成等) <p>【3Rの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改善施策の実施
	住宅工事部門・建築工事部門	<p>【適正処理の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マニフェスト運用管理 ・ eいシステム運用管理 ・ 現場指導(分別、保管管理等) <p>【3Rの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 改善施策の実施

廃棄物管理組織図



前 年 度 【2023 年 度】 実 績

原簿業務の目録	社 会 的 責 任 的 な 貢 献										2023年 からの削減 効果(削減率)	2023年 からの削減 効果(削減率)		
	1 社会貢献活動 の推進	2 社会貢献活動 の推進	3 社会貢献活動 の推進	4 社会貢献活動 の推進	5 社会貢献活動 の推進	6 社会貢献活動 の推進	7 社会貢献活動 の推進	8 社会貢献活動 の推進	9 社会貢献活動 の推進	10 社会貢献活動 の推進				
1 200 汚泥	300.0										300.0			
2 600 廃プラスチック類	108.1									108.1	4.3	98.1		
3 700 紙くず	4.8									4.8	3.9	0.9	0.7	
4 800 木くず	115.2									115.2	115.2		43.5	
5 900 繊維くず	0.6									0.6	0.6		0.0	
6 999 金属くず	2.5									2.5	2.5		1.6	
7 999 ガラスくず等	162.5									162.5	161.0		35.4	
8 1500 がれき類	977.2									977.2	907.3		506.2	
9 999 管理型廃棄物 合廃棄物	40.0									40.0	40.0		40.0	
10										0.0	0.0		0.0	
11										0.0	0.0		0.0	
12										0.0	0.0		0.0	
13										0.0	0.0		0.0	
14										0.0	0.0		0.0	
15										0.0	0.0		0.0	
16										0.0	0.0		0.0	
17										0.0	0.0		0.0	
18										0.0	0.0		0.0	
19										0.0	0.0		0.0	
20										0.0	0.0		0.0	
合計	1,710.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,710.9	1,534.8	98.1	78.0	
													677.4	0.0

(注)1)トン単位の削減率として四捨五入、ただし、数字が等価であれば小数点以下3桁まで記載可。

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

2024年 7月8日

(宛先) 高槻市長

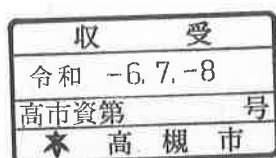
提出者

住所 門真市岸和田4-10-1

氏名 中井エンジニアリング(株)
東部導管営業所 所長 大石 伸也

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-883-8121



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	高槻市 管轄内事業所
事業場の所在地	高槻市 管轄区域内
計画期間	令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 : 総合工事業
②事業の規模	工事収益 3,282,000,000円
③従業員数	52人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	現場掘削にて発生 → 収集運搬 → 処理施設にて処理 アスコン破片 (おもに破碎) コンクリート破片

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和05年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物
	排出量	2104.82 t	7.6 t
	(これまでに実施した取組) ・ 非開削工法での道路掘削の軽減		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	排出量	1900 t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 引き続き非開削工法での道路掘削の軽減を予定 ・ 本復旧面積の縮小 全面復旧面積縮小 可能であれば半面復旧		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 残土とアスコン破片、コンクリート破片を分別して収集運搬している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 昨年同様、残土とアスコン破片、コンクリート破片を分別して収集運搬を行う。

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和05年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	建設系混合廃棄物
	全処理委託量	2104.82 t	7.6 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	2104.82 t	7.6 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者	t	t
(これまでに実施した取組)			
・非開削工法での道路掘削の軽減			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	全処理委託量	1900 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	1900 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	・引き続き非開削工法での道路掘削の軽減を予定		
※事務処理欄			

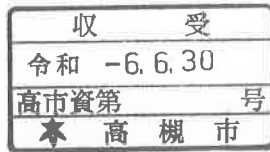
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6年6月30日

(宛先) 高槻市長



提出者

住所 大阪府高槻市東上牧1-2-5

氏名 株式会社ニチレイフーズ関西工場
工場長 丸山 大輔

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-669-1251 (代)

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ニチレイフーズ 関西工場
事業場の所在地	大阪府高槻市東上牧1-2-5
計画期間	2024.4.1~2025.3.31
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	09 食料品製造業
②事業の規模	売上高 275,697百万円 (2023年3月期ニチレイフーズグループ連結)
③従業員数	497名 (2024年4月1日現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1 参照

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（排水汚泥）	有機性汚泥（有機物その他）
	排出量	6,284 t	198 t
①現状	（これまでに実施した取組） 「SK会議」（生産性会議）（毎月実施）及び環境保全委員会（3ヶ月毎に実施）にて、生産ライン毎の廃棄物の発生状況を分析／把握し、抑制の対策を協議及び共有する。		
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（排水汚泥）	有機性汚泥（有機物その他）
	排出量	6,324 t	199 t
②計画	（今後実施する予定の取組） <全体>削減率=計画生産量の前年度比（+1.65%）+今年度削減▲1%=前年度比+0.65% とした。 <残渣>生産ライン毎に目標原単位を設定し進捗管理を行う（全体/前年度比▲8.3%）。生産ラインにおける不良品や落下物の削減の取り組みを継続し、これによる排水処理設備の負荷の低減を図る。 <排水汚泥>排水処理機器の定期メンテナンスによる能力維持：ピット清掃、脱水機、ポンプ交換等		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・対象：汚泥、残さ、廃プラスチック、金属くず、乾電池 ・取組み：飛散流出防止策、保管量の管理、関連作業への周知
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・現状の取り組みの継続及び維持

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

汚泥（下記以外）	動植物性残渣	廃プラスチック類	金属くず
6 t	967 t	64 t	16 t

②計画

汚泥（下記以外）	動植物性残渣	廃プラスチック類	金属くず
6 t	973 t	65 t	16 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

乾電池			
0.1 t	t	t	t

②計画

乾電池			
0.1 t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（排水汚泥）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	5,777 t	t
(これまでに実施した取組) <ul style="list-style-type: none"> ・生産ラインにおいて原料類（肉・米）の床への落下を削減し、排水溝へ流さないようにする。 ・排水処理機器の定期メンテナンスによる能力維持：ピット清掃、脱水機、ポンプ交換等。 			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（排水汚泥）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	5,814 t	t
(今後実施する予定の取組) <ul style="list-style-type: none"> ・削減率＝計画生産量の前年度比（+1.65%）＋今年度削減▲1%＝前年度比+0.65% とした。 ・生産ラインにおける原料類（肉・米）の床への落下の削減取り組みを継続、及び周知の徹底。 ・生産機器の効率改善及び老朽化更新における不良品発生率の低減。 			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

t	t	t	t
t	t	t	t

②計画

t	t	t	t
t	t	t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	有機性汚泥（排水汚泥）	有機性汚泥（有機物その他）
	全処理委託量	507 t	198 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	198 t
	再生利用業者への処理委託量	507 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	37 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	161 t
	(これまでに実施した取組) <排水汚泥、残渣>肥料原料化及び飼料化による再利用。 <廃プラ>固形燃料化による再利用。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

汚泥（下記以外）	動植物性残渣	廃プラスチック類	金属くず
6 t	967 t	64 t	16 t
t	t	9 t	t
t	967 t	2 t	16 t
t	t	t	t
6 t	t	62 t	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

t	t	t	t

②計画

t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

乾電池			
0.1 t	t	t	t
t	t	t	t
0.1 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	有機性汚泥（排水汚泥）	有機性汚泥（有機物その他）
②計画	全処理委託量		510 t	199 t
	優良認定処理業者への処理委託量		t	199 t
	再生利用業者への処理委託量		510 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量		t	37 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t	162 t
			<p>（今後実施する予定の取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・削減率＝計画生産量の前年度比（+1.65%）＋今年度削減▲1%＝前年度比＋0.65% とした。 ＜排水汚泥、残渣＞肥料原料化の継続。 ＜残渣＞飼料化の増加の取り組みを強化（FLW 令和5年度目標3.13%以下／実績3.25%） ＜廃プラ＞包装資材のサイズ/材質の見直しによる減量化の推進。 	
※事務処理欄				

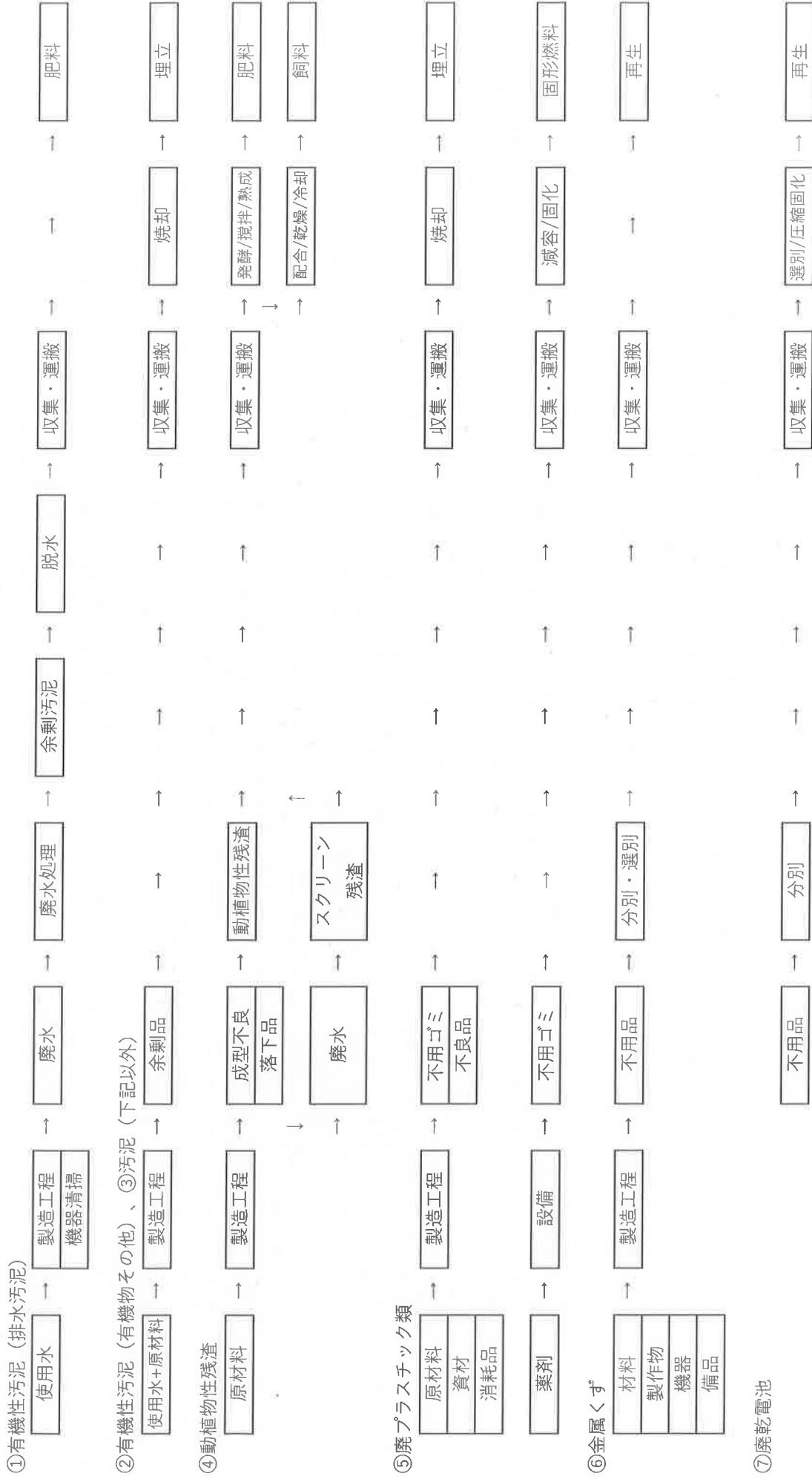
②計画

汚泥（下記以外）	動植物性残渣	廃プラスチック類	金属くず
6 t	973 t	65 t	16 t
t	t	9 t	t
t	973 t	2 t	16 t
t	t	t	t
6 t	t	62 t	t

②計画

乾電池			
0.1 t	t	t	t
t	t	t	t
0.1 t	t	t	t
t	t	t	t
t	t	t	t

【別紙1 産業廃棄物の一連の処理の工程】



【別紙2 管理体制図】

